

各農業関係機関長・団体長様

京都府病虫害防除所長
(公 印 省 略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので、送付します。

発生予察特殊報第 1 号

病虫害名 タバココナジラミ バイオタイプ Q (*Bemisia tabaci* Biotype Q)
作物名 トマト、キュウリ、トウガラシ
発生地域 山城地域

1 発生経過

平成 1 7 年秋に府内の施設栽培トマト、キュウリ、トウガラシで、コナジラミ類の発生調査を実施した(表)。その結果、府内のほ場でタバココナジラミの発生が見られた。本虫を採取し、独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 野菜茶業研究所及び近畿中国四国農業研究センターに P C R 法による検定を依頼した結果、本府では未確認の「タバココナジラミ バイオタイプ Q」であることが確認された。

本虫は、平成 1 7 年 2 月に九州沖縄農業研究センターの上田氏により宮崎県で国内での初めての発生が確認されて以来、平成 1 8 年 4 月 2 5 日現在、九州、中国、東海及び関東の 1 6 県で確認されている。

2 形態

(1) タバココナジラミには、これまでに異なる 4 1 の系統(バイオタイプ)が存在し、国内では在来系統(バイオタイプ不明)、シルバーリーフコナジラミ(バイオタイプ B)及びバイオタイプ Q が確認されている。

バイオタイプとは、形態的な差異は小さいが、遺伝子型、寄主植物への影響等の生物学的な性質が異なる系統のことである。

(2) シルバーリーフコナジラミ(バイオタイプ B)との形態上の差異は成虫、幼虫ともに確認されておらず、外観から識別できない。

3 生態

(1) バイオタイプ Q は 1 9 9 6 年にスペインで初めて確認され、2 0 0 3 年にイタリア、イスラエルで、その後中国、アメリカ等で発生が確認されているが、生態に関しては不明な点が多い。

3 寄主植物

- (1) バイオタイプQの国内の既発生地域では、野菜や花き類、雑草などの多くの植物に寄生することが報告されている。
[ナス科] トマト、ミニトマト、ナス、ピーマン、トウガラシ、シシトウ、パプリカ
[ウリ科] キュウリ、メロン、[アブラナ科] 茎ブロッコリー、[ユリ科] アスパラガス、[ヒルガオ科] サツマイモ、[シソ科] シソ、セージ、[キク科] ガーベラ、
[トウダイグサ科] ポインセチア、[アカネ科] ブーバルディア 等

4 被害

- (1) オンシツコナジラミやシルバーリーフコナジラミ同様、成幼虫の吸汁による生育阻害や分泌物に発生するすす病による葉や果実などの汚れが問題となる。
- (2) シルバーリーフコナジラミと同様に、トマト黄化葉巻ウイルス(TYLCV)を媒介することが確認されている。
- (3) ピーマンやシシトウでは果実の着色不良(白化症状)が発生する。

5 防除対策

- (1) ほ場周辺の雑草類は増殖源となるので、除草を徹底する。
- (2) 施設栽培では、開口部(サイド、出入口、天窗等)を目の細かい(目合い0.4mmが望ましい)の防虫ネットで被覆する。
- (3) 黄色粘着ロールをハウス開口部に展張する。
- (4) 施設栽培では、近紫外線カットフィルムを使用する。
- (5) ラノーテープを使用する場合は、定植直後から張る。
- (6) 栽培終了時に、全ての株を地際から切断した上で、蒸し込み処理を行い、本種を完全に死滅させて、施設外への分散を防ぐ。
- (7) 有効薬剤に対する薬剤感受性の低下を回避するために、できるだけ同一系統薬剤の連用は避ける。
- (8) 薬剤の使用に当たっては、最新の農薬登録情報を参照し、適正に防除する。

6 その他

- (1) 疑わしいコナジラミが発生している場合は、最寄りの普及センターや病害虫防除所に連絡する。
- (2) 昨年行った調査では、バイオタイプQは山城地域で確認している。
- (3) 九州を中心にバイオタイプQの薬剤感受性の低下が報告されているが、京都府内の個体群での薬剤感受性については、現在調査中である。

表 コナジラミ類発生調査結果(タバココナジラミバイオタイプ含む)

調査日	調査場所	寄主植物	調査虫数	オンシツ	タバコ	バイオタイプ (検定個体数)
10.7	福知山市牧	トマト	52	49	3	B (2 / 2)
10.11	向日市物集女1	トマト	265	139	126	Q (2 / 2)
"	京都市伏見区向島	トマト	112	0	112	Q (2 / 2)
"	八幡市岩田	トマト	13	5	8	Q (2 / 2)
"	京田辺市松井	トマト	123	61	62	Q (2 / 2)
10.18	向日市物集女2	トマト	68	60	8	Q (2 / 2)
11.9	向日市物集女1	トマト	53	47	6	Q (1 / 1)
"	" 2	トマト	119	93	26	Q (9 / 9)
"	京都市北区大宮	トマト	4	3	1	B (1 / 1)
10.11	京都市伏見区向島	キュウリ	101	15	86	Q (2 / 2)
"	久御山町東一口	キュウリ	126	23	103	Q (2 / 2)
"	八幡市内里	キュウリ	58	11	47	Q (2 / 2)
"	八幡市岩田	キュウリ	117	0	117	Q (2 / 2)
10.14	精華町下狛	トウガラシ	152	13	139	Q (2 / 2)
10.16	京都市左京区下鴨	メキャベツ	-	-	-	B (9 / 9)

農業総合研究所環境部調査(協力:(独)野菜茶業研究所、(独)近畿中国四国農業研究センター)

バイオタイプ検定方法:PCR法

オンシツ:オンシツコナジラミ、タバコ:タバココナジラミ

Q:タバココナジラミ バイオタイプQ、B:タバココナジラミ バイオタイプB(従来のシルバーリーフコナジ

- :調査未実施